

2022年7月28日

各 位

株式会社 ユビテック

## **住友化学株式会社の2工場に 安全見守りサービス「Work Mate」を導入**

**～スマートウォッチで従業員の安全・健康管理と、スマートファクトリー化を推進～**

株式会社ユビテック（本社：東京都港区、代表取締役社長：大内 雅雄）は、このたび、作業者の安全見守りサービス「Work Mate」を住友化学株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：岩田 圭一、以下住友化学）の岐阜プラント（岐阜県安八町）、大江工場（愛媛県新居浜市）に導入いたしましたのでお知らせします。

### **1. 「Work Mate」導入の背景と目的**

住友化学では、「安全をすべてに優先させる」という基本理念のもと、基本理念に基づく指針や「私の『基本理念』実行5原則」を設定し、全社従業員およびともに働く協力会社の皆さまを含む全ての関係者が一体となって、「重大事故・重大災害ゼロ」を目標として安全活動を展開しています。また、住友化学は、中期経営計画の基本方針の一つに「デジタル革新による生産性の向上と事業強化」を掲げ、プラント領域においては、デジタル技術を活用したものづくり基盤の高度化、事業の競争力強化の取り組みを推進しています。

ユビテックは、2021年に先行して岐阜プラントで「Work Mate」の試行運用を実施し、作業員の安全管理として一定の有効性を確認しました。この結果を踏まえて2022年5月、労働安全衛生とDX戦略によるスマートファクトリー推進の一環として、同プラントでは、製造から工事管理業務へ適用範囲を拡大するとともに、夜間遠隔作業者の安全見守り強化として大江工場にも導入しました。IoT・AI技術を駆使した「Work Mate」によって、作業員の転倒・転落および疲労の蓄積状態などの体調変化を自動検知し、現場作業における労災事故の早期発見・未然予防を実現することで、さらなる従業員の安全と生産性の向上を目指します。

### **2. 今後の展開**

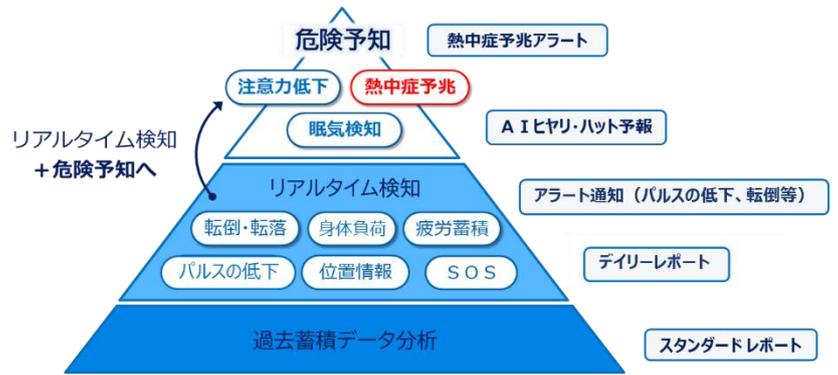
ユビテックは、今後も作業現場における「Work Mate」のさらなる有効性、機能性向上を目指していきます。また、「ヒト」にまつわるデータの価値創造を最優先し、AI・データ活用のエキスパーティーズ（専門的技術）を高め、「危険予知・予防」をコンセプトとしたサービスを展開してまいります。

以上

＜本件に関するお問い合わせ先＞  
株式会社ユビテック 広報マーケティング室 小笠・細野 [TEL:03-5447-6732](tel:03-5447-6732)

## ■ 「Work Mate」 のコンセプト

転倒・転落や各種体調変化のリアルタイム検知に加え、バイタルや活動量データから熱中症予兆や注意力低下などの「危険予知」を行い、労災事故の「未然予防」を目指す



## ■ 「Work Mate」 の特徴・機能

<p><b>01</b></p> <p><b>熱中症予兆検知</b></p> <p>作業者のバイタル情報と周囲の温湿度状態を把握して熱中症予兆を推定</p>	<p><b>02</b></p> <p><b>転倒・転落検知</b></p> <p>作業者が転倒・転落した際に管理者へアラート通知</p>	<p><b>03</b></p> <p><b>SOSアラート通知機能</b></p> <p>スマートウォッチ上で所定の操作をすることで作業員から管理者へ SOS 発報</p>	<p><b>04</b></p> <p><b>屋内外位置測位</b></p> <p>作業者の現在の屋内外作業場所を測位し、リアルタイムにウェブ画面上に表示</p>	<p><b>05</b></p> <p><b>バイタル情報測定</b></p> <p>バイタル、活動量を可視化 (パルス、体調レベル、疲労レベル、身体負荷、歩数、カロリー)</p>
--	---	---	---	--

※ 熱中症予兆検知について



- ・実証で得たバイタルデータから熱中症の「予兆」を検知するアルゴリズムをユビテックが独自開発
- ・日々のバイタルデータの個人特性を AI が学習することで、検知精度が進化し続けていく
- ・回復状態も検知し、現場での適切な休憩および現場復帰を促す

☑ 転倒・転落検知の本人確認画面・通知

☑ 体調レベルの変化通知



・「Work Mate」は、医療機器ではなく、疾病の診断、治療、予防を目的としておりません。